

定 一 部 金 貳 圓
一 月 卅 冊 送
一 冊 五 圓
廣 告 費 卅 圓
字 體 一 行 卅 圓
五 十 圓 以 上 卅 圓
日 刊 休 日 禮 拜 日 大 祭 日
福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
發 行 所 常 務 每 日 新 報 社
電 話 六 三 〇 番

常新新聞

日刊 一 號 行 號 編 輯 人 川 崎 文 治 本 社 下 同 番 地 (電 話 六 三 〇 番) 印 刷 所 常 務 每 日 新 報 社

八月十九日 九月十日

涼味を追ふて 山海へ!!

海水着
登山袋

携帶用靴各種
運送にも理想的な
ズツク製布團入
平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番

舊盆大入満員御禮として
名畫撰擇して
市川百々之助一人二役
得意の大剣劇
終 敵討 十卷
捕縄の波をぬけて權十郎を
追つて會津に來りし源八郎
は正劍仇刃を呑んで小橋に
隠れ權十郎の一行を待つ...
...猛風狂嵐の前の静寂

帝キネ獨得芦屋の喜劇
長屋泰平記 六卷
里見明・歌川八重子主演

マキノ現代劇の世界的名篇
全六篇...三十卷の内
學生 五人男 爛漫篇
杉狂兒・東郷久義・小宮一見
瀧澤憲・津村博主演

マキノプロダクション超特
作品!!!大谷友三郎映畫界隱
退篇
性格 影武者 十二卷
描寫の罪にて遠島四年大赦
無實の罪にて遠島四年大赦
にて歸る左泉幾太郎彼とて
武士のはしくれ如何で役人
へ反抗の刃を向けずにはい
られやうか
十九日より

有聲座

買好子店
良品の安ク賣ル

クニスリ

関内藥舖
薬剤師 関内栄助
電話四〇番

外科 専門

入院應需

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

内科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。

磐城病院

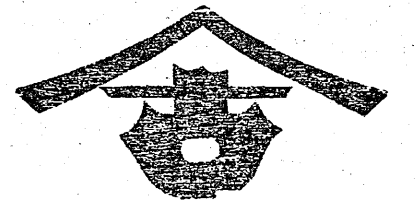
平町田町本通り
入院隨時(電話二一四番)

外科一般
耳鼻咽喉科
女性病科
× 光線科

赤心堂病院

田町 電話四七五番

登 録 商 標



醬油 味噌 鰹節 味醂 酒類 罐頭 食品

製 造 問 屋

鹽屋山崎合名社會

電話 營業部 一〇番
工場 二七番

常警毎日新聞
生活原理としての創造

八 稻毛金七

この過渡時代即ち國民が歸趨に迷つて居る昨今に於て斯の如き勸語が下つたと云ふことは、私共「創造」を口にするもののみならず、國家の前途を思ひ、又我國民の幸福を増進しようとする希ふ何人も感激に堪へないことではないかと思ふのであります。併しながら、私は暫く勸語を離れて私自身の立場に歸りまして考へて見ます。

世の中に若しも最も不可解な、否最も矛盾した且最も厭ふべきことがあると致しましたならば、それは「創造の模倣」と云ふことではないでせうか。少くとも私は、世の中に是程大きな矛盾と程大きな不愉快とはないと思ひます。そして最近に於ける我國の状態、即ち創造を口にする人の態度は、遺憾乍ら此最も大きな矛盾を敢て致して居るのであります。然らば斯くいふ私自身は果してどうであるか、此際私の事を申上げることが出来るがましい禮を失することでありませんが、此演題を掲げて諸君と見え

常磐文藝
夕立後 小山テル

夕立は止んだ
草木は活々として
涼しそうに稲葉は
風に戦ぐ
葉の裏に隠れてゐた
雨蛙は
のそり／＼這ひ出した
一時鳴き止んだ
裏の桐畑の蟬が
又一聲に鳴き始めた

麥湯接待

御通りの節は召しあがれ

平町月見町
岩石販賣 喜多林之助
土木請負

飲むにすぐキク
クノ一散

齒痛、神經痛、頭痛の特効藥
平町各藥店に販賣す
試みられよ。

最新式 ラヂオ廉價販賣

アンテナ及びアースは入りません
(高尚優美旅行用ともなる高聲にして雑音なし)

機械スーパースター六球ヘトロタイン充電機付
持参して御開かせの上一時拂或ひは月賦等御相談致します

時計商 大谷時計店
平町三丁目(電話四一九番)

名特 入手 拭手 提價 供

吉田屋 染工場
福島縣平町五丁目
(電話五五八番)
(振替仙台五三二八番)

徒弟入用 — 十三四歳位ノ者四五名 —

石城では得票が 五百以上なければ

供託金が没収さる

出馬説確實な人々

石城郡にては明春五月執行される總選挙の別術戦とも見るべき縣會議員選挙もいよいよ期日切迫し早くも都鄙到る處に選挙の話に花が咲き目を透うて選挙

気分が濃厚の度を

増して来たが有権者も舊法から約二倍に達し三萬四千九十九人で棄権が一割と見ても最少得票三千票に達しなければ當選は至難ではな

定員を以て有効投票を除いて得た数の十分の一に達しない場合は没収されることであるから同郡の如きは定員六名で除した数即ち五百内外の十分の一即ち五百二十票に達しない時には没収される而して候補者も定員六名に對し

政友會

に於ては小野晋平、古川傳一、鈴木辰三郎、山崎吉平、井上茂作の四氏を推薦することは確實とされ民政黨また若松美三、大平陸四郎或ひは鷲清昇、野崎滿藏の三氏中立からは田子健吉氏、無産階級を代表して日勞黨から廣瀬貞氏、勞働農民黨から山代吉宗氏更に炭礦業者を

代表を以て青沼錦

磐城炭礦の
出炭量減る
災害の餘波で
石城郡内郷村磐城炭礦は前期災害の餘波を受け今期出炭状況は不振で六月は九萬

熱辯を揮ふ

昨日平町にて

既報日本大學福島縣人會主催日本大學東北學生聯合講演會は昨日午後六時より聚樂館に於て開催、暑さにもめげず聴衆四百以上に於て頗る活況を呈し左記の順序に依り各辯士は交々壇上に起つて熱辯を揮つた

(開會の辭)法學部濱名政雄、(明治大正文化史の我觀)豫科吉田優、(普選に直而して)豫科稻毛誠、(資本主義經濟批判)教授太田徹夫、(無産大衆の奮闘)雄辯部委員鎌倉政雄、(ウラル山嶺紅なり)同白土金吾、(新日本創造の道)雄辯部長山本、(閉會の辭)法學部杉本嘉助尚ほ同學生の一行は本日郡山公會堂、廿日青森縣弘前公會堂に於て論陣を張る事になつて居る

四千噸、七月は十萬七千噸の出炭率を示し之れを前年同期に比すれば六七兩月とも五千噸の減少である、尙今月は季節關係で幾分減少を豫想されて居り今期六十萬噸の出炭はむづかしいと

厩小屋の火事を 切腹馬が發見し

大事に至らず消し止む 煙火が屋根へ落ちて

十七日午後四時頃中町鎌田町にて流燈會で打上げた煙火が點火した儘石城郡神谷村大字岸鎌田農鈴木萬吉方の厩に落下し屋根に燃え移りあはや大事に至らんとしたが同家の飼馬があわたとしくいなく聲を聞きつけた隣家の者が駆けつけて消し止めたが件の馬は暴にも庭先で葉切用の押切にて切腹自殺を圖らんとした事のある有名な馬である

神官の家

忍び込んだ賊

住所不定茨城縣茨城郡新治郡波村大字常名無職小野傳藏(三)は窃盜前犯者にて本年一月水戸刑務所から放



崩れぬ化粧

この暑い汗ばむころには先づ崩れぬ化粧の第一とし白粉をつける前に手當が

産馬技手

鹿兒島から

石城郡産馬畜産組合では畜産馬の體軀改良病斃防止其他に就き徹底的改善を計るべく本年度組合豫算に計上し産馬技手一名を招聘する事に決定本年四月着任する筈の處現在迄延期され十七日鹿兒島縣種畜場技手上川保徳氏來任産馬の改良事業に従事になつた

軍用鳩を捕ふ

石城郡夏井村大字大越字大乗坊農業木田芳重は去る十七日午前十一時頃同村用水池附近にて水泳中飛び迷つて來た軍用鳩を捕へ平署に届出た

評議員當選者

石城郡町村長會支部會にては昨日評議員二名の補欠選挙を行つた所小名濱町長鈴木榮上遠野村長吉田房吉の兩氏當選した

縣參事歡迎宴

本縣參事會員は縣費出納検査の爲め來平の爲め十九日午後六時より谷口樓に於て歡迎會を催すと

花咲爺が一等賞

昨夜妙見稻荷の懸賞假裝

平町白銀町の妙見稻荷神社は既記の如く昨夜祭禮に際し踊子風俗の假裝行列を行つた爲め夕暮方より是れを見んとして集る人々群めき合へ一方鐵道官舎前の空地には櫓をあげて盆踊りの圓陣歡樂境を現出し非常の賑ひを呈した因に假裝行列は數名の審査員が嚴重審査を遂げ左記等級に依り加藤丈夫氏寄贈の賞品反物其他を贈呈した

▲一等(花咲爺)五丁目坂本敏一▲二等(馬)白銀町坂本正義外二名▲三等(案山子)新川町石井八十

秋の半襟

半襟の様式は無地ものか刺繡ものか二通りに殆んど限られた形ちて、友仙染模様等の半襟がちらちら見られた三四年前が實に遠い昔の

單調さ

平凡さから脱しようとして様々苦心した變り織地もの、非常に多いミラネーゼ、シャルムーズはすでに凡化し氣味で山麓入りや金糸銀糸の織込まれたもの等々動き出し、うづら縮縮やじぼの大きい縮づら縮縮ものが生地となりか

變り地

同様變化のある處から相當今秋も勢力があるらしく思はれます、色は着物地同様明るい感じのもの、若向きには黄味をたびたもの紅系統のものも多く中年向きには納戸系統から紫がかったものが流

大柄な

刺繡が割に強い色調で現はれてゐるものもあり、しかし一方には古典趣味を満たさせるために石だ、みややがた地の上に菊や手のこんだ秋草が細かく刺繡されたもの

相當の

ものがあり五圓から七八圓十圓位でます極目新しいものでは全體の絞りにところどころ地をあけて刺繡をほどこしたものの即ち絞りと刺繡を合せて一つの半襟としようとする試みのもので二つの調子がうまく合へば目先の變つた

面白い

ものが出來ようと言ふことです價格はこれも五圓位から十圓内外のところですよ

平町人事

▲生出
△才熊小路四田村若雄氏三男弘△立町九三上野重忠氏二男政守